

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	q3w ベムプロリスマブ(PMBCL)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	NHL-048
登録日・更新日	2023年10月1日
削除日	
出典	KEYNOTE-170、キイトルーダ添付文書
入力者	園部 あみ

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	No.1	ベムプロリスマブ(遺伝子組換え) (キイトルーダ点滴静注) 生理食塩液*	100mg 100mL	200mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	30分

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期・中止基準】 間質性肺疾患 ・Grade2の場合、Grade1以下に回復するまで休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には中止する。 ・Grade3以上又は再発性のGrade2の場合、中止する。</p> <p>大腸炎/下痢 ・Grade2又は3の場合、Grade1以下に回復するまで休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には中止する。 ・Grade4又は再発性のGrade3の場合、中止する。</p> <p>肝機能障害 ・ASTが100~150U/L若しくはALTが150~200U/L又は総ビリルビンが1.5~3.0mg/dLに増加した場合、Grade1以下に回復するまで休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には中止する。 ・ASTが150U/L超、若しくはALTが200U/L超、又は総ビリルビンが3.0mg/dL超に増加した場合、中止する。 ・肝転移がある患者では、AST又はALTが治療開始時にGrade2で、かつベースラインから50%以上の増加が1週間以上持続する場合、中止する。</p> <p>腎機能障害 ・Grade2の場合、Grade1以下に回復するまで休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には中止する。 ・Grade3以上の場合、中止する。</p> <p>内分泌障害 ・Grade2以上の下垂体炎、症候性の内分泌障害(甲状腺機能低下症を除く)、Grade3以上の甲状腺機能障害、Grade3以上の高血糖、1型糖尿病の場合、Grade1以下に回復するまで休薬する。12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合には中止を検討する。</p> <p>Infusion reaction ・Grade2の場合、投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には投与速度を50%減速して再開する。 ・Grade3以上の場合又は再発性のGrade2の場合、直ちに中止し再投与しない。</p> <p>Grade3以上の心筋炎、脳炎、ギラン・バレー症候群 副作用の処置としての副腎皮質ホルモン剤をプレドニゾロン換算で10mg/日相当量以下まで12週間以内に減量できない場合 12週間を超える休薬後もGrade1以下まで回復しない場合 ・上記の場合は中止する。</p> <p>上記以外にGrade4の血液毒性が発現した場合は、Grade1以下に回復するまで休薬する。</p>
---------	---

前投薬	なし
-----	----

その他の注意事項	<p>*日局生理食塩液又は日局5%ブドウ糖注射液の点滴バッグに注入し、最終濃度を1~10mg/mLとする。</p> <p>・インラインフィルター(0.2~5µm)を使用して投与</p> <p>【免疫チェックポイント阻害薬有害事象対応マニュアル】を参照</p>
----------	---

記入者	園部 あみ
確認者	田畑 里佳子